

2020年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2019年10月31日

上場会社名 株式会社KSK 上場取引所 東
 コード番号 9687 URL <https://www.ksk.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 牧野 信之
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理本部長 (氏名) 八木 秀政 TEL 042-378-1100
 四半期報告書提出予定日 2019年11月7日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第2四半期の連結業績（2019年4月1日～2019年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	8,268	7.8	489	△4.5	507	△3.8	337	△5.2
2019年3月期第2四半期	7,669	4.5	512	4.8	528	4.2	356	5.6

(注) 包括利益 2020年3月期第2四半期 316百万円 (△3.6%) 2019年3月期第2四半期 328百万円 (△11.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第2四半期	56.78	55.56
2019年3月期第2四半期	58.98	57.82

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期第2四半期	14,404	10,652	73.0	1,761.28
2019年3月期	15,270	10,842	70.3	1,805.69

(参考) 自己資本 2020年3月期第2四半期 10,517百万円 2019年3月期 10,734百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	0.00	—	94.00	94.00
2020年3月期	—	0.00	—	—	—
2020年3月期（予想）	—	—	—	51.00	51.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2020年3月期の連結業績予想（2019年4月1日～2020年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	17,450	6.3	1,450	6.0	1,490	6.2	1,000	7.3	167.76

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料P8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期2Q	7,636,368株	2019年3月期	7,636,368株
② 期末自己株式数	2020年3月期2Q	1,664,571株	2019年3月期	1,691,571株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期2Q	5,950,169株	2019年3月期2Q	6,041,428株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、引き続き良好な雇用環境と所得情勢、好調な企業業績を背景に、個人消費や設備投資などの内需が堅調で、引き続き緩やかながら拡大基調で推移いたしました。一方、世界経済は保護主義的な通商政策を背景とした貿易摩擦や英国のEU離脱問題、中東情勢などの不確定要素があり、不透明感が一層強まっております。

当社グループの属する情報サービス産業界におきましては、働き方改革への取り組み等、企業における生産性向上や業務効率化を目的とした投資需要に加え、AIやIoT、RPA等の分野にも注目が集まり、堅調に推移しております。

このような環境の中、当社グループでは積極的な採用活動の展開による人材確保、および新卒の新入社員に対する3ヶ月にわたっての基礎教育実施等により、人材育成、早期戦力化に向けた成長投資を行うことで、拡大する市場の需要へ機動的に対応できる体制づくりに努めてまいりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は8,268百万円で599百万円の増加（前年同期比7.8%増）と前年同期比で増収となり、売上総利益は1,667百万円で147百万円の増加（前年同期比9.7%増）と前年同期比で増益となりました。一方、積極的な人材確保等に伴う販売管理費の増加により、営業利益につきましては489百万円で23百万円の減少（前年同期比4.5%減）、経常利益につきましては507百万円で20百万円の減少（前年同期比3.8%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益につきましては337百万円で18百万円の減少（前年同期比5.2%減）となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

(イ) システムコア事業

車載の組み込みソフト開発業務に関しては堅調に推移していることから、売上高は1,557百万円（前年同期比2.6%増）となりました。一方、半導体設計に関しては、半導体市況の悪化に伴う調整の影響が稼働率の低下につながっていること等から、セグメント利益は364百万円（前年同期比2.2%減）となりました。

(ロ) ITソリューション事業

住宅建設業界向けや金融系向けの各種ソフト開発の受注が好調です。一方、自社開発の住宅建設業界向けパッケージソフトウェアについては、新規販売に伴う立ち上げコストの負担に加え、幅広い顧客ニーズに対応するための機能追加対応が利益を圧迫していることから、売上高は2,090百万円（前年同期比6.7%増）、セグメント利益は171百万円（前年同期比3.6%減）となりました。

(ハ) ネットワークサービス事業

堅調な需要に支えられ、各種支援業務や運用・保守業務の受注が好調です。旺盛な需要にこたえるべく、積極的な人材投資を行うことで、受注機会を的確に捉え、拡大・多様化する需要に対応してまいりました。その結果、売上高は4,620百万円（前年同期比10.2%増）、セグメント利益は959百万円（前年同期比19.5%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産・負債および純資産の状況

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における資産は、14,404百万円と前連結会計年度末に比べ866百万円の減少となりました。これは主に、流動資産の仕掛品が43百万円増加した一方で、流動資産の現金及び預金が228百万円、受取手形及び売掛金が568百万円、固定資産の無形固定資産に含まれるソフトウェアが68百万円、固定資産の投資有価証券が37百万円、それぞれ減少したことなどによるものであります。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債は、3,751百万円と前連結会計年度末に比べ677百万円の減少となりました。これは主に流動負債において、その他流動負債に含まれる前受金が15百万円、固定負債において、退職給付に係る負債が9百万円、それぞれ増加した一方で、流動負債において、買掛金が20百万円、未払法人税等が169百万円、賞与引当金が138百万円、流動負債のその他に含まれる未払費用が134百万円、預り金が74百万円、それぞれ減少したことなどによるものであります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産は、10,652百万円と前連結会計年度末に比べ189百万円の減少となりました。これは主に新株予約権が26百万円増加した一方、配当金の支払により利益剰余金が220百万円減少したことによるほか、その他有価証券評価差額金が30百万円減少したことなどによるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ228百万円減少し4,015百万円となりました。

各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間において、営業活動の結果得られた資金は443百万円（前年同期比235百万円減）となりましたが、これは主に税金等調整前四半期純利益の計上508百万円や減価償却費の計上97百万円、売上債権の減少568百万円などといった増加要因があった一方で、賞与引当金の増加138百万円、たな卸資産の増加44百万円、未払消費税の減少63百万円、法人税等の支払額334百万円などといった減少要因があったことによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間において、投資活動の結果使用した資金は81百万円（前年同期比646百万円の支出減）となりましたが、これは主に有価証券の償還による収入1,500百万円などといった増加要因があった一方で、有価証券の取得による支出1,300百万円や投資有価証券の取得による支出413百万円などといった減少要因があったことによるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間において、財務活動の結果使用した資金は590百万円（前年同期比308百万円の支出増）となりましたが、これは主に配当金の支払額556百万円によるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2019年4月26日の「2019年3月期 決算短信」で公表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,443	4,215
受取手形及び売掛金	3,541	2,972
有価証券	500	500
仕掛品	137	181
原材料及び貯蔵品	1	2
その他	215	193
貸倒引当金	△2	△0
流動資産合計	8,837	8,065
固定資産		
有形固定資産	584	590
無形固定資産	291	223
投資その他の資産		
投資有価証券	4,580	4,542
その他	989	994
貸倒引当金	△12	△12
投資その他の資産合計	5,557	5,525
固定資産合計	6,433	6,338
資産合計	15,270	14,404
負債の部		
流動負債		
買掛金	215	195
短期借入金	60	-
未払法人税等	381	211
賞与引当金	1,182	1,044
その他	1,180	879
流動負債合計	3,019	2,330
固定負債		
退職給付に係る負債	1,171	1,180
資産除去債務	42	45
その他	194	194
固定負債合計	1,408	1,421
負債合計	4,428	3,751
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,448	1,448
資本剰余金	1,644	1,651
利益剰余金	8,554	8,333
自己株式	△1,118	△1,100
株主資本合計	10,529	10,333
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	290	260
退職給付に係る調整累計額	△85	△76
その他の包括利益累計額合計	205	184
新株予約権	102	129
非支配株主持分	4	4
純資産合計	10,842	10,652
負債純資産合計	15,270	14,404

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
売上高	7,669	8,268
売上原価	6,149	6,600
売上総利益	1,519	1,667
販売費及び一般管理費	1,007	1,178
営業利益	512	489
営業外収益		
受取利息	9	9
受取配当金	4	4
その他	6	4
営業外収益合計	20	18
営業外費用		
支払利息	0	0
保険解約損	4	—
その他	0	0
営業外費用合計	5	0
経常利益	528	507
特別利益		
受取保険金	1	0
特別利益合計	1	0
特別損失		
固定資産除却損	0	0
特別損失合計	0	0
税金等調整前四半期純利益	529	508
法人税等	172	170
四半期純利益	356	337
非支配株主に帰属する四半期純利益	0	0
親会社株主に帰属する四半期純利益	356	337

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
四半期純利益	356	337
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△40	△30
退職給付に係る調整額	12	9
その他の包括利益合計	△27	△20
四半期包括利益	328	316
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	328	316
非支配株主に係る四半期包括利益	0	0

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	529	508
減価償却費	97	97
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△9	△1
賞与引当金の増減額 (△は減少)	29	△138
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	26	22
受取利息及び受取配当金	△13	△13
支払利息	0	0
有形固定資産除売却損益 (△は益)	0	0
受取保険金	△1	△0
売上債権の増減額 (△は増加)	389	568
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△156	△44
仕入債務の増減額 (△は減少)	△3	△20
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△29	△63
その他	55	△162
小計	913	752
利息及び配当金の受取額	19	25
利息の支払額	△0	△0
法人税等の支払額	△257	△334
法人税等の還付額	5	0
営業活動によるキャッシュ・フロー	679	443
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券の取得による支出	△1,500	△1,300
有価証券の償還による収入	2,000	1,500
有形固定資産の取得による支出	△13	△56
無形固定資産の取得による支出	△18	△10
投資有価証券の取得による支出	△1,317	△413
投資有価証券の償還による収入	100	200
資産除去債務の履行による支出	△5	—
その他	25	△1
投資活動によるキャッシュ・フロー	△728	△81
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	100	—
短期借入金の返済による支出	△100	△60
自己株式の処分による収入	—	26
配当金の支払額	△281	△556
財務活動によるキャッシュ・フロー	△281	△590
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△330	△228
現金及び現金同等物の期首残高	4,383	4,243
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,052	4,015

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自2018年4月1日至2018年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	システムコア事業	ITソリューション事業	ネットワークサービス事業	合計
売上高				
外部顧客への売上高	1,518	1,958	4,191	7,669
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	40	9	50
計	1,518	1,999	4,201	7,719
セグメント利益	373	178	802	1,354

2. 報告セグメントの利益の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	1,354
セグメント間取引消去	55
全社費用(注)	△897
四半期連結損益計算書の営業利益	512

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない総務・経理部門等の管理部門に係る費用であります。

II 当第2四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	システムコア事業	ITソリューション事業	ネットワークサービス事業	合計
売上高				
外部顧客への売上高	1,557	2,090	4,620	8,268
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	27	7	35
計	1,557	2,117	4,628	8,303
セグメント利益	364	171	959	1,496

2. 報告セグメントの利益の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	1,496
セグメント間取引消去	56
全社費用(注)	△1,063
四半期連結損益計算書の営業利益	489

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない総務・経理部門等の管理部門に係る費用であります。